２０２５年３月２４日（毎月１回刊／第４月曜日発行）　建交労とうきょう　（昭和５３年９月２２日第三種郵便物認可）　第１０９６号

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交運一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館７階
電話 03（3820）8644（代）
fax、03（3820）8646
編集発行人　松田　隆浩
１部１５円組合費に含まれる（〒６０円）

3・9東京・埼玉トラック部会首都圏トラックパレード開催

3月9日(日)、建交労東京トラック部会・埼玉トラック部会は、首都圏トラックパレードを開催しました。前日の降雪で開催が心配されましたが、当日は好天に恵まれ全体でトラック24台・宣伝車3台・乗用車7台述べ34台が集結し、77名の仲間（集会50名・沿道激励27名）が参加しました。9時に葛西トラックターミナルに集合し「春闘勝利！業界改善に向けて大幅賃上げを！」「安心安全な交通運輸産業を！」「適正運賃収受で経営改善を！」などの横幕でトラック装飾を行い、10時より決起集会を行いました。冒頭、東京トラック部会矢島部会長（豊島）は主催者挨拶の中で、国内全体の物価高騰による生活困窮やトラックドライバーのなかなか改善されない労働環境など、厳しい実情を訴えました。来賓挨拶では首都圏労使協成瀬会長（教宣文化社代表取締役社長）、東京地評中村事務局次長、首都圏交運共闘会議林事務局長、建交労中央本部足立執行委員長、東京都本部石塚副委員長より激励のお言葉を頂き、その後鈴木埼玉部会長（教宣）より決意表明と、前山埼玉事務局長（神田）よりスローガンの確認があり、最後に細川埼玉副部会長（目生流通）の閉会挨拶と団結ガンバローで決起集会は終了しました。パレードは3つの梯団に分かれ、宣伝カーとともにそれぞれ列隊を組みスタートしました。途中、門前仲町では沿道にて建交労東京都本部や高齢者部会の仲間が横断幕を大きく振り、激励の応援をして頂きました。浜離宮庭園まで約2時間かけて沿道の方々にアピールし、パレードは無事終了しました。【東京トラック部会 事務局長　上村　誠】

出発前の決起集会で挨拶をする中央本部足立執行委員長

なくそう貧困と格差　実現しよう輸送の安全！

25春闘勝利！大幅賃上げを実現しよう！

適正な運賃の収受で実現しよう賃上げと安全輸送！

バス関連支部（京王新労組）ストライキ決行　3・13ストライキ集会開催

バス関連支部（京王新労組）は、2月18日に要求書を提出後、組合主張を行ってきたものの、会社の不誠実な回答を受けストライキに入りました。バス事業の現状は、運転手不足で路線の廃止や減便が続いており、京王バスでも同様です。物価高で実質賃金が目減りする中、ベースアップもなく、期末一時金支給だけでは日々の暮らしの改善にはつながりません。65歳までの定年延長が実施されることになりましたが年収が8割に減額されるため納得出来る回答ではありません。労働者あっての「事業」であるからこそ声を上げようと、春闘を広くアピールするため「見える化」を求めて京王電鉄本社前での「ストライキ集会」に取り組みました。オープニングを飾った「歌声の大熊氏」によるパフォーマンスの後、主催者挨拶で、内部留保を溜め込む企業に対し「物価高騰率を超える賃上げの声をあげよう」と呼びかけました。建交労中央本部、都本部、国民春闘共闘、東京春闘共闘、三多摩春闘共闘、郵政ユニオン委員長などが「物価高騰の中でストライキで賃上げを迫ろう、軍事費より生活保障へ、春闘を盛り上げよう」と表明がされました。この度の集会には、三多摩春闘共闘が大型バスを貸し切って行動を組み多くの仲間が激励に参加していただきました。今後、建交労からも多くの参加を期待します。

集会後は三多摩春闘共闘会議の一員として仲間のスト集会に参加するなど、連帯して行動しました。

【バス関連支部（京王新労組）
執行委員長　佐々木　仁】

京王電鉄本社前にて開催しました（聖蹟桜ヶ丘駅）

書記局正社員募集

労働組合運動に意欲のある方

募集資格　：　35歳位まで（キャリア形成のため）
仕事内容　：　経理・総務
待　　遇　：　当社規定による・社保完備
応　　募　：　電話連絡の上、履歴書（写真貼付）を東京都本部までお送り下さい

詳細は東京都本部までお電話ください
03－3820－8644（平日9時半～17時半）

「JR東日本、JR貨物は全ての労働者の大幅賃上げを実施せよ」
鉄道本部 3・13 JR貨物本社前宣伝行動 開催

３月１３日全国統一行動日に、鉄道本部は、今年もＪＲ貨物本社前での宣伝行動を展開しました。鉄道東京地本の組合員８名とＪＲ貨物会社所属の組合員３名、都本部３名、全体で２１名が集結しました。行動は鉄道東日本本部によって進められ、建交労中央本部や東日本本部からは、財界・大企業が目論む金銭解雇や労基法等の改悪への批判、石破政権の高額療養費制度の見直しの撤回、２５春闘で大幅賃上げ・底上げを目指したたかい抜こうなどと、呼びかけがありました。貨物会社に所属する３名の組合員からは、会社が社員と家族の生活を顧みない低水準の考えを示したこと、ＪＲ貨物の低賃金構造が若年社員の離職に拍車をかけ、さらなる要員不足を招き、安全安定輸送に黄色信号が点灯していること、分割民営化による「旅客会社が優先される線路の使用状況」を強いられ、貨物会社単独では解決できない構造的矛盾があること、さらに貨物会社そのものが利益第一主義に陥り「利益を上げなければならない」という無言の圧力が疑われる事故を発生させ、責任を社長自らがとるべきという訴えがあり、道行く人に行動への支援を呼びかけました。【鉄道東京地本 執行委員長 井上 敏】

JR貨物本社前で開催しました（JR新宿駅南口）

建設首都圏共闘会議2・28 建設イエローアクション開催

首都圏の土建組合や建交労関地協、国土交通労組などで構成する建設首都圏共闘会議は、２月２８日（金）衆議院第一議員会館大会議室で「建設労働者に大幅賃上げを！建設現場に週休２日を！」をスローガンに決起集会を開催しました。基調報告を行った建設首都圏共闘上間事務局長（国土交通労組関東建設支部副執行委員長）は「建設業の倒産が年間１８００件を超え過去最高となった。能登をはじめ、被災者が救われない中、大阪万博を開催している場合ではない。大手ゼネコン各社の内部留保が１兆円を超えているが、私達労働者が汗水流して働いた利益に他ならない。建設業の担い手三法が改正された今こそ、現場労働者の大幅賃上げを勝ち取ろう！」と力強く呼びかけました。建交労から関東ダンプ協議会千葉分会の高橋智書記長がダンプ労働者の現状について報告しました。「若手が不足するダンプ業界において、引上げられた設計労務単価が労働者に行き渡るようにしなければならない。違法盛土について、中間ストックヤードが登録制になったものの、最終処分まで元請けの責任で管理しないと熱海のような災害が再び起きてしまう。」と訴えました。集会後、国会議員に請願行動を実施し、同時に新橋駅前でチラシグッズを配布しながら宣伝を行いました。建交労から、中央本部や建築設計支部いしずえ分会の仲間が結集しました。【東京建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

建設労働者に大幅賃上げを！
建設現場に週休2日を！

25春闘勝利を目指して 建交労 3・6中央行動 開催

「全組合員参加で賃金闘争を展開しよう！各地でともに闘う仲間を増やそう！」のスローガンをかかげ、建交労は3月6日（木）中央決起集会を開催しました。

主催者を代表して挨拶をした中央本部足立浩執行委員長は「大幅賃上げが可能な情勢となっているが、今までと同じ春闘では同じ結果になってしまう。労働組合の加盟率は１６．１％と労働者は圧倒的に未組織であり、組合がある職場だけでたたかっていては要求実現は出来ない。物価高騰は全ての働く人、全ての国民にのしかかっている。価格転嫁を実現し中小企業での大幅賃上げで日本経済を回復させよう！」と力強く呼びかけました。来賓に日本共産党堀川あきこ衆議院議員、全労連の秋山正臣議長が駆けつけました。集会に先立って東京駅で行われた全労連女性部の菜の花行動に、建交労女性部が結集した他、建交労の建設に関わる6部会（ダンプ部会、セメント生コン部会、重機部会、労災職業病部会、建設現場部会、建設・関連部会）で構成する建設産別委員会は、大手ゼネコン要請行動を実施。鉄道本部は国交省交渉、学童保育部会は国会議員要請行動、トラック部会は国交省・厚労省・国会議員要請行動、事業団・高齢者部会は厚労省要請をそれぞれ実施し、各業種の実態を伝えると共に制度改善を迫りました。

全組合員で取り組んだ請願署名を厚労省へ
提出しました（集約数4215筆）

～第三次担い手3法を実効性あるものに～建設政策研究所 第30回全国建設研究・交流集会in成田 開催

２０２４年１２月８日（日）～９日（月）建設政策研究所は第３０回全国建設研究・交流集会を開催しました。全建総連加盟の土建組合や国交労組、建交労など官民の労働組合から１６団体２１８名が参加しました。「第三次担い手３法改正～賃金・単価の引上げに向けて」と題して開催されたシンポジウムでは、法政大学社会学部准教授の江羅さとみさん、全建総連長谷部康幸さん、全国商工団体連合会鈴木正彦さん、国土交通労組上間正央さんが、それぞれ発言され「建設現場労働者の労務費を、国が標準労務費として定め、著しく低い額での契約やダンピングを防止する仕組みが盛り込まれた。この制度をいかに実効制のあるものとして活用するかが課題だ。」と述べました。【全国建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】

「建設労働者の処遇改善はいかに可能か」
江羅さとみ准教授による講演

組合掲示板

- ■4月 9日（水）１２時～国民春闘共闘最賃ビッグアクションデー／厚労省前
- ■4月１９日（土）１３時～建交労東京学校第１回／神田支部会議室
- ■5月 1日（木）１０時～第９６回中央メーデー／代々木公園、三多摩メーデー１３時半～／井の頭公園西園競技場
- ■5月 3日（土）憲法集会１３時～／有明防災公園（有明駅、国際展示場駅）